

# 畜産みやぎ

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 佐藤利吉

定価 1部62円

印刷所 K K東北プリント



第45回東北鞍馬競技大会 (H7. 4. 23 涌谷町)

## も く じ

平成7年度畜産施策の基本方針と重点施策…… 2

平成6年度生乳需給状況並びに  
平成7年度生乳需給調整対策について…… 4

経済連の新畜産部紹介…… 6

地域畜産指導相談窓口業務の概要について…… 7

人の動き…… 7

平成7年度宮城県総合畜産共進会の開催について…… 8

第13回宮城県削蹄競技大会開催並びに  
第16回宮城県削蹄研修会の開催について…… 8

「もっと知識や技術を」…… 8

イチビ防除に関する最新情報…… 9

ヨーネ病…… 10

抱負…… 10

## 平成7年度畜産施策の基本方針と重点施策

### 宮城県畜産課

#### 1 基本方針

本県の畜産は、食生活の多様化等を背景とする畜産物需給の伸び等に支えられ、順調な発展を遂げ、本県農業の基幹的部門となっている。

しかしながら、最近においては、畜産物需給の伸びが鈍化して鈍化しており、畜産物価格の低迷、担い手の高齢化や産地間競争の激化等の問題を抱えているほか、平成3年4月に牛肉の輸入が自由化され、生産・流通面で様々な影響が現れている。また、本年1月に世界貿易機構(WTO)が設立され、4月からは乳製品の関税化や畜産物の関税率引き下げが実施されるとともに、急激な円高の進行など、新たな国際環境に対応した畜産の体質強化が求められている。

これらを踏まえ、昨年、国においては、農業・農村を21世紀に向けて、持続的に発展させ、我が国経済社会における基幹的な産業及び地域として次世代に受け継いでゆくことを期して「ウルグァイ・ラウンド農業合意関連対策大綱」を決定した。畜産対策としては、生産技術等に応じた適正規模への拡大・集約、経営管理能力の向上を図るとともに、自給飼料基盤の整備、省力化技術の導入、耕種部門と一体となったりサイクル型畜産の確立等を推進し、経営の安定を図りつつ、生産性のより高い畜産経営を実現することとしている。

このような情勢の中で、本県畜産の健全な発展を図っていくためには、生産者の主体的な取り組みと地域の特色や自主性を活かしながら、国際化の諸情勢に対応し得る、生産性の高い畜産経営の実現、高品質畜産物の生産、経営感覚に優れた経営体の育成、畜産を主体とした地域の活性化とともに、畜産物の需給動向に即した生産が不可欠である。また、畜産物流通の合理化や消費者ニーズの変化に対応した商品の開発と銘柄化等を図ることが重要である。

このため、本年度は「新たな国際化に対応した畜産の展開」を目指し、ウルグァイ・ラウンド関連対策、担い手対策及び生産性向上対策として、肉用牛振興策の総合的な展開、酪農ヘルパー制度の支援強化、産地間競争に打ち勝つ能力の高い雄型種豚の選抜・確保等を推進するとともに、地域ぐるみの畜産経営環境の整備、家畜保健衛生対策の強化を図る。

また、「仙台牛」、「宮城野豚(ミヤギノポーク)」などの県内産畜産物の銘柄化の推進、畜産物の安全性の確保、生乳流通合理化等各般の施策を推進する。

#### 2 重点施策

##### 1 新時代に対応した肉用牛生産の振興

国際環境の変化や産地間競争の激化等に対応するため、21世紀に向けた先進的肉用牛産地の育成と魅力ある農村づくりを目指し、肉用牛振興策を総合的に展開するとともに、優れた種牛の効率的な生産体制を整備するほか、高級牛肉「仙台牛」の生産拡大、肉用牛経営体への支援・指導による低コスト生産体制の整備を強化する。

##### (1) 肉用牛改良対策

肉用牛の能力向上を通じ、商品性の高い「仙台牛」の産地化を一層推進するため、引き続き肉質・増体能力に優れた種雄牛を造成するとともに、優れた種雌牛の効率的な生産に取り組む。

##### (2) 肉用牛経営安定対策

経営体質の強化、肉用牛主産地の活性化等を図るため、地域の特性を生かした肉用牛振興策を総合的に展開するとともに、地域ぐるみの組織活動を通じた低コスト生産の推進を目指し、地域畜産総合活性化対策事業を実施する。

また、畜産経営感覚に優れた生産性の高い経営体を育成するための支援・指導の施策として畜産経営技術高度化促進事業を展開する。

##### (3) 肉用牛流通対策

「仙台牛」銘柄の普及・定着化を促進するため、提供店・販売店の拡充強化や広報活動を展開するとともに、県内・外における消費拡大対策を積極的に推進する。

また、家畜市場の近代化・合理化を推進するため、市場再編整備のための検討機関に対して指導支援してゆく。

##### 2 ゆとりのある先進的酪農経営の振興

牛肉自由化の影響によるヌレ子等副産物価格の低迷、担い手の減少等に対応するため、酪農経営の体質強化を目指し、酪農経営基盤の流動化、乳用牛改良の推進及び新技術の導入等とともに、酪農後継者

**STAR** スター農業機械

**マニュアルブレッダ**

倍角ステアリングで  
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800  
(倍角ステアリングボディ) (ディスクブレーキ)

**スター農機株式会社** 仙台営業所  
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収  
糞の正常化と悪臭防止など。

35年間の販売と実績を誇る安全：天然野生酵母



〒980 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号

株式会社セイワ東北営業所

TEL (022) 215-3112

FAX (022) 213-7190

等の円滑な就農のためヘルパー制度の拡充や作業の協業化、分業化等の活動を行うモデル的な酪農集団を育成し、ゆとりのある酪農経営の実現を図る。

(1) 乳用牛改良対策

牛群検定指導員への情報提供等牛群検定の推進体制を強化するため、乳用牛群検定普及定着化事業により、検定情報分析センターを活用する。

(2) 酪農経営安定対策

酪農経営の維持・発展のため、担い手対策として就労条件の改善に向けた酪農ヘルパー制度を拡大強化する。

また、生乳生産枠の流動化を促進して、意欲的で経営能力に優れた農家へ集積生産基盤を強化するほか、草地開発、自給飼料の高位生産利用のための生産条件整備を推進する。

(3) 牛乳、乳製品流通対策

「宮城のフレッシュ牛乳」をはじめ、県産乳製品の消費拡大のため、学校給食用牛乳供給事業を実施するとともに、飲用牛乳消費拡大対策、おいしい牛乳づくりを推進し、県民食生活の向上のための牛乳・乳製品の栄養・健康等についての知識の普及・啓蒙を図る。

3 産地間競争に対応した養豚の振興

消費者ニーズの変化、豚肉の流通・加工の合理化に対応した本県養豚の体質強化を目指し、系統豚ミヤギノの効率的普及、人工授精技術等を活用した生産基盤の強化、地域の特色を活かした生産拠点の育成、さらには能力の高い雄型種豚を選抜するための組合せ検定等を実施する。

また、系統豚「ミヤギノ」を活用した肉豚「宮城野豚(ミヤギノポーク)」の銘柄確立を図るとともに、養豚経営環境の整備、自営防疫活動の推進を強化する。

(1) 豚改良対策

系統豚の効率的普及のため、優良系統豚の維持を継続し、系統豚ミヤギノを利用した地域生産組織の拡充強化を図るとともに、人工授精技術等を活用した生産基盤を強化するほか、雄型種豚を選抜するための組合せ検定等を実施する。

(2) 養豚経営安定対策

養豚経営の安定的発展と安価で良質な豚肉を供給するため、先進技術への取り組み、規模拡大や養豚一貫経営の促進、地域ぐるみの養豚経営環境整備など、地域の特色を活かした生産拠点の育成を図る。

(3) 肉豚流通対策

食肉加工処理施設の機能を充実するとともに、平成5年度から出荷が開始された「宮城野豚(ミヤギノポーク)」の銘柄確立と消費拡大を図る。

4 国産化に対応した畜産支える生産・環境基盤の整備

大家畜畜産経営の安定的発展のため、飼料基盤の拡充と効率的利用を推進するとともに、混住化の進展等に伴う畜産経営に係る環境問題に対応し、環境にやさしい畜産の推進を図るため、畜産経営の周辺環境の整備や家畜ふん尿処理施設の整備等を積極的に推進するほか、家畜伝染病の発生予防、畜産物の安全性確保等家畜保健衛生対策の強化を支援する。

(1) 飼料生産基盤対策

公社畜産基地建設事業を3地区で実施するとともに、草地基盤の整備可能地の現状や開発手法の調査を行うほか、効率的な飼料生産のため高性能機械を整備し、飼料作物生産の受託作業の推進を支援する。

(2) 環境保全型畜産確立対策

県畜産経営環境整備事業を実施するとともに汚染の防止と畜産振興及び家畜振興及び家畜ふん尿適正処理の基本方向を定めるための基礎調査を実施するほか、家畜尿汚水浄化処理技術を整備し実証展示・調査を進める。

(3) 家畜保健衛生対策

家畜疾病による経済的損失を最小限に防止するため、家畜伝染病等の発生予防、まん延防止を図るとともに、動物用医薬品等について、安全性の確保、使用の適正化を推進する。

5 高度な畜産新技術の開発・普及

畜産物の国内・外競争力の強化を図るためには、生産性の向上と高品質化が不可欠であり、これらの問題の解決を可能とする受精卵移植技術を積極的に活用した、本格的な生産を図るための技術の開発に取り組むとともに、普及体制を整備する。

(1) 受精卵移植技術の開発・実用化対策

受精卵移植技術の育種改良への活用を促進するため、受精卵の確保・活用体制の整備と体外受精技術により、F<sub>1</sub>雌牛を利用した黒毛和種の生産・双子生産技術の実用化に取り組むほか、クローン胚作出等の新たな技術の確立を図る。

また、遺伝子レベルで家畜改良を推進するため家畜DNA育種基盤整備事業を実施する。

(畜産経営係 大場 実)

ORION

ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。



東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691

宮城営業所 吉川市新田字泉屋敷59-4 ☎989-61 TEL (0229)26-4330



動物用医薬品

セレン配合  
総合ミネラル固型塩

錠塩セレン

日本全薬工業株式会社

### 平成6年度生乳需給状況並びに

### 平成7年度生乳需給調整対策について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

平成6年度の生乳需給については、年度当初は平成5年度に引続き需給状況が悪化していたため、減産計画(対前年比97.1%)となりましたが、第1四半期においてはほぼ計画並に推移したものの第2四半期に入って記録的な猛暑により、飲用向生乳需要増と相まって生産が落ち込み、需給が急激に逼迫しました。

その為第3四半期に入って単年度限りの対策として特別生産枠の設定(概ね生産量の1%)がなされましたが、生乳生産の回復が遅れたため生乳計画生産は未達となってしまいました。(別表1)

一方、用途別販売については当初危惧されていた飲用向け生乳については猛暑の影響により、対前年比10.3.6%と前年を大中に上回り、その結果乳製品向けは(別表1)

対前年比62.1%となりました。(別表2)

又、平成7年度の生乳計画生産は、安定的生乳生産供給体制の確立と弾力的な需給調整を図るため、平成7年度の中期生乳需給計画に基づいて実施することになり、需給逼迫状況が続く中、平成4年度以来の増産計画となっております。(別表3)

尚本年度はUR関連対策としての酪農経営体育成強化緊急対策事業(流動化対策)やその他の新規事業や継続事業が畜産物価格関連対策として計画されておりますので(別表4)、酪農生産基盤の維持拡大を目指す為にも、計画生産の達成と合せてこれらの事業の有効活用を図られるようお願い申し上げます。

(販売課長 武田 良介)

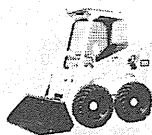
平成6年度月別生乳計画生産生産達成状況

(単位: kg, %)

生産者団体	上期計				下期計				年度計						
	受託乳量	前年比	計画比	超過乳量	受託乳量	前年比	計画比	超過乳量	受託乳量	前年比較		計画対比		基礎目標数量	生産枠数量
										前年比	比較乳量	計画比	超過乳量		
蔵工酪農	16,302,032.0	94.00	98.67	▲ 218,968.0	15,585,252.0	93.70	96.59	▲ 549,748	31,887,284.0	93.86	33,974,820.0	97.65	▲ 768,716.0	32,656,000	32,656,000
宮城酪農	26,199,702.0	96.82	101.57	406,702.0	24,620,526.0	99.40	100.42	102,526	50,820,228.0	98.05	51,829,402.0	99.65	▲ 179,772.0	50,311,000	51,000,000
経済連	16,356,485.5	94.13	101.07	171,485.5	14,820,179.0	91.10	94.84	▲ 806,821	31,176,664.5	92.67	33,643,411.0	97.04	▲ 951,335.5	31,812,000	32,128,000
仙台酪農	3,172,714.0	98.49	100.56	17,714.0	2,911,564.0	90.56	95.74	▲ 129,436	6,084,278.0	94.53	6,436,444.5	98.20	▲ 111,722.0	6,196,000	6,196,000
県酪連	14,838,131.0	93.13	100.71	105,131.0	14,171,187.0	98.90	96.63	▲ 494,813	29,009,318.0	95.87	30,260,564.0	98.67	▲ 389,682.0	29,399,000	29,399,000
栗原酪農	4,145,783.0	94.98	100.60	24,783.0	3,967,289.0	97.53	97.21	▲ 113,711	8,113,072.0	96.21	8,432,659.0	97.95	▲ 169,928.0	8,202,000	8,283,000
登米酪農	3,665,515.0	93.95	97.13	▲ 108,485.0	3,477,282.0	96.27	100.09	3,282	7,142,797.0	95.06	7,513,601.0	98.55	▲ 105,203.0	7,248,000	7,248,000
本吉酪農	3,002,771.5	94.34	96.24	▲ 117,228.5	2,786,067.0	92.41	94.44	▲ 163,933	5,788,838.5	93.40	6,197,840.0	95.37	▲ 281,161.5	6,070,000	6,070,000
遠田酪農	2,644,428.0	94.33	98.71	▲ 34,572.0	2,444,667.0	100.46	101.44	34,667	5,089,095.0	97.18	5,236,737.0	100.00	95.0	5,089,000	5,089,000
山田酪農	793,103.0	95.84	94.19	▲ 48,897.0	761,449.0	90.16	91.74	▲ 68,551	1,554,552.0	92.97	1,672,139.0	92.98	▲ 117,448.0	1,672,000	1,672,000
合計	91,120,665.0	94.91	100.22	197,665.0	85,545,462.0	95.92	97.51	▲ 2,186,538	176,666,127.0	95.39	185,197,617.5	98.29	▲ 3,074,873.0	178,655,000	179,741,000 (687,000) 180,428,000

(注1) 上期、下期の目標数量は、基礎目標数量にて算出。  
(注2) 年度の目標数量は、修正後の特別生産枠を加えた生産枠数量とする。  
(注3) 受託数量には、県酪連抑制分7月10,500kg、8月10,570kgを含む。

#### TCM東洋フォークローダー



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。  
畜産農家の近代化に  
作業の省力化に大きく貢献します。  
豊富なアタッチメント。

#### TCM東洋運搬機株式会社

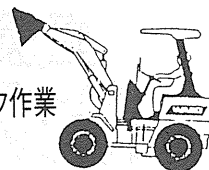
#### 東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1  
電話 022-259-6351

#### KOMATSU

カンタン操作で、

飼料も堆肥もラクラク作業



#### コマツ宮城株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30  
電話(022)(237)7441番代

(別表2)

平成6年度用途別受託販売数量

用途別	数量(t)	前年比(%)	用途別	数量(t)	前年比(%)
市乳向	117,863,849	103.60	チーズ向	971,143	84.32
県外移出	19,774,782	118.06	発酵乳等向	8,154,600	98.91
生クリーム向	5,886,098	114.94	出荷抑制量	21,070	1.41
加工原料乳	23,994,585	62.05	受託乳量計	176,666,127	95.39

(別表3)

平成7年度会員別生乳計画生産出荷目標数量

	①平成6年度生乳出荷基礎目標数量(t)	②伸び率(%)	③平成7年度生乳出荷基礎目標数量①×②(t)	備考
蔵王酪農	32,656	(注3による)	33,504	
宮城酪農	50,311		51,617	
経済連	31,812		32,638	
仙台酪農	6,196		6,357	
県酪連	29,399		30,162	
栗原酪農	8,202		8,415	
登米酪農	7,248		7,436	
本吉酪農	6,070		6,227	
遠田酪農	5,089		5,221	
山田酪農	1,672		1,715	
合計	178,655		183,292	

(別表4)

平成7年度畜産物価格関連対策事業

- 1 生クリーム等生産振興緊急特別対策事業(新規)
- 2 酪農安定特別対策事業(新チーズ基金)
- 3 酪農経営合理化特別対策事業(新規)
- 4 酪農ヘルパー組織運営体制強化特別事業(新規)
- 5 飼料生産外部化拡大緊急対策事業
- 6 大家畜経営活性化資金特別融通助成事業
- 7 乳肉複合経営体質強化事業
- 8 酪農経営体育成強化緊急対策事業(新規, UR関連対策)
- 9 畜産環境保全施設等緊急整備促進事業(新規)
- 10 家畜ふん尿バイオリアクター等処理技術開発事業
- 11 畜産衛生環境保全事業のうち畜産衛生環境整備圃場滑化事業
- 12 畜産衛生環境保全事業のうち畜産廃棄物有効活用体制整備事業
- 13 粗飼料利用率向上緊急対策事業
- 14 畜産経営体質強化緊急特別指導事業
- 15 牛乳乳製品消費拡大対策事業
- 16 国産牛乳消費拡大緊急特別対策事業(新規)
- 17 中小乳業総合体質改善事業
- 18 牛乳販売店経営体質強化リース事業(新規)
- 19 飲用牛乳市場安定化対策事業
- 20 生乳需給調整体制強化対策事業

(注1) 平成6年度生乳出荷基礎目標数量には1,279tのチーズ仕向数量を含む。  
(チーズ除外出荷基礎目標数量177,376t)

(注2) 平成7年度生乳出荷基礎目標数量には950tのチーズ仕向目標数量を含む。  
(チーズ除外目標数量182,342t)

(注3) 平成7年度の伸び率の算定は  
(1) (平成6年度生乳出荷基礎目標数量-チーズ仕向目標数量) × 102.8% = 182,342t  
(2) [(1) + 平成7年度チーズ仕向目標数量] ÷ 平成6年度生乳出荷基礎目標数量 = 伸び率

(注4) 平成6年度生乳出荷基礎目標数量の修正等により、平成7年度生乳出荷基礎目標数量の削減がなされた場合、削減される量は、その原因となった会員の目標数量により削減するものとする。

(注5) 平成7年度生乳出荷基礎目標数量の達成が困難な会員は、その一部を返還できるものとし、本会はその数量を必要な会員に配分出来るものとする。

(注6) 万一、平成7年度の本会生乳出荷基礎目標数量に対し超過・未達が生じ平成8年度生乳出荷基礎目標数量が削減された場合は、その原因となった会員に対し数量を按分して帰属させる場合もある。

動物用 (牛専用)  
医薬品

**トルラミック**  
特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1  
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)



飼い上手 育て上手は……  
みのたに……で  
動物薬品・獣医器具総代理店  
株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL 003121  
山形店 山形市太白区羽黒台31-14 16 TEL 02414306  
仙台店 仙台市太白区羽黒台31-14 16 TEL 02414306  
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL 0240963

# 経済連の新畜産部紹介

宮城県経済農業協同組合連合会

去る、4月1日、本県畜産にとって永年の課題であった、経済連と畜連との合併が実現し新たな事業展開がスタートしました。

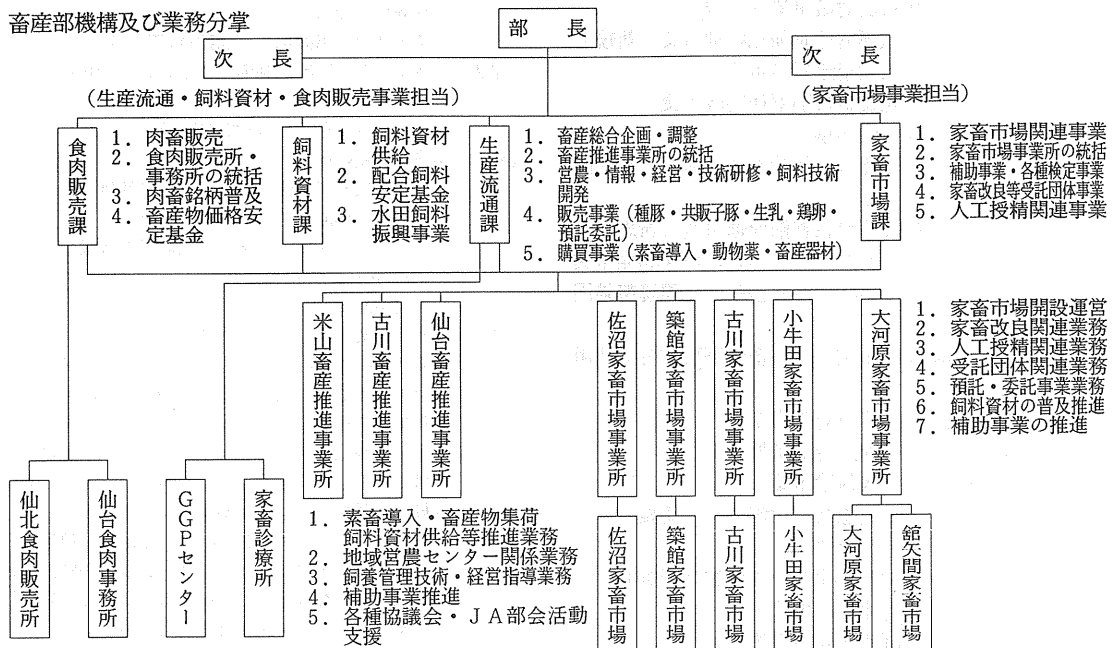
本県には数多くの畜産団体があり、独自の事業展開が行われており、特に、経済連と畜連は、生産指導、販売等で連携を欠き、事業重複・競争を来とし、必ずしも、畜産農家にとって望ましい構図ではなかった。今や、国際化時代をむかえ、本県畜産事業の将来展望を明らかにし、畜産農家の健全な育成を図ることが求められ、その対応として、経済連・畜連が合併しより効率的、専門的で高度な機能を果す体制を確立し、JA畜産事業の補完と、一元的農家指導による、畜産農畜産部機構及び業務分掌

家の経営安定を図ることを目的としております。

又、旧畜連事業の継承にあたっては、事業のスムーズな継承と畜産農家に対し、合併による混乱や違和感を招かないことを最重点として事業継承します。

さらに、事業推進につきましては、JAとの調整を図りつつ、JA事業方式へ移行させることを基本とするものの、旧畜連の推進方策をも配慮し、各事業分野における要領を暫定期間設置し、円滑な事業展開を図ることが基本的な考え方であります。以下、新畜産部の機構図とその事業分掌は次のとおりです。

(生産流通課補佐 丹野 康治)



**飼料は**  **まるきた印**

採卵鶏用配合飼料  
ブロイラー配合飼料  
肉牛用配合飼料  
乳牛用配合飼料

**北日本飼料株式会社**  
石巻市川口町3丁目2番8号  
TEL 石巻 0225 (22) 6111  
FAX 石巻 0225 (22) 6116

**ビフィズス菌は**  
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。  
**活**きたまま腸までとどきます。

**ビヒダス®**  
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市飯野五丁目1番3号  
☎ (022) 384-5181

# 地域畜産指導相談窓口業務の概要について

(社)宮城県畜産会

畜産をめぐる情勢が大きく変化する現状を踏まえ、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成と指導者の養成を図り経営体のレベル、実態に即応した支援指導を総合的に実施することが課題とされております。

本会では、これに対応し指導事業を効率的に推進するため、専門的な知識を持った窓口相談員3名を仙南(大河原, 仙台家保管内), 仙北(古川, 築館家保管内), 東部(迫, 石巻家保管内)の3地区に配置し、県及び関係機関と連携の下、日常的な経営体の状況把握、経営技術に対する専門指導、地域における指導の連絡調整等指導相談の業務に従事しております。

その主な業務と駐在地等は以下の通りですので、ご承知頂き、窓口相談員の業務をご理解頂き、地域における指導を含め広範に亘り活用頂きたくお願い申し上げます。

### 1. 相談員の業務内容

- (1) 畜産経営体の定期巡回指導、診断指導の受付、支援指導事業の連絡調整及びその他支援指導
- (2) 地域における関係機関・団体との連携・協力・支援及び指導事項の調整等
- (3) 関係団体との業務の連携・協力・支援

### 2. 相談員の業務(指導・調査)の内容

- (1) 診断指導農家及び指導対象農家の定期巡回並びにフォローアップ指導及び診断対象農家の事前調査
- (2) 畜産経営簡易診断、畜特資金借受者の調査・指導

### <人の動き>

宮城県配合飼料価格安定基金協会

退任(5月31日付)

理事 鴫田 孝治

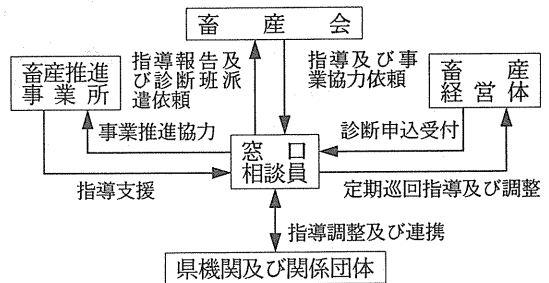
(7. 5. 16付)

新	旧	氏名
常務理事	事務局長	我妻 信義

- (3) 先進的畜産経営体、地域畜産活性化事業指導対象農家の調査・指導
  - (4) 補助事業(公社営・畜環・低コスト肉用牛等)の計画策定支援及び経営調査・事後指導
  - (5) 地域(家保)指導班への参加
  - (6) 県及び関係団体事業の協力・支援
3. 相談員担当地区・担当者・駐在地

担当地区	担当者	担当者駐在地
仙南地区(仙台・大河原家保管内)	庄子 己代治	宮城県経済連・仙台畜産推進事業所
仙北地区(古川・築館家保管内)	宇和野 克己	〃・古川 〃
東部地区(迫・石巻家保管内)	佐竹 仁郎	〃・米山 〃

指導相談窓口業務の実施体制は下記のフローチャートのとおりです。(次長 佐藤 勝也)



宮城県家畜産物衛生指導協会

退任(5月24日付)

常務理事 我妻 信義

(7. 5. 24付)

新	旧	氏名
常務理事兼事務局長	事務局長	佐々木敬功

## 来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688



## 動物用薬品器材のことなら

タックにご用命下さい。

株式会社 タ ッ ク

- 本社 〒980 仙台市青葉区上杉三丁目3番8号  
電話 022-225-7338(代)
- 仙台(営) 古川(営) 〒987 遠田郡小牛田町関根字館野28番  
電話 0229-34-2018(代)
- 福島(営) 〒960 福島市矢剣町22番5号  
電話 0245-36-2815(代)
- 須賀川(営) 〒962 須賀川市卸町3番  
電話 0248-76-5177(代)

## 平成7年度宮城県総合畜産共進会の開催について

(社)宮城県畜産会

今年で、7回目を迎える平成7年度宮城県総合畜産共進会は次のとおり開催されます。なお出品区分、付帯行事等については次号でお知らせ致します。

1. 肉豚の部  
開催日 平成7年8月30日～9月1日  
場 所 米山町・宮城県食肉流通公社
2. 乳用牛・肉用牛の部  
開催日 平成7年9月29日(金)～10月1日(日)  
場 所 小牛田町・小牛田家畜市場

(次長 佐藤 勝也)

## 第13回宮城県牛削蹄競技大会開催並びに第16回宮城県牛削蹄研修会の開催について

宮城県装削蹄師会

牛削蹄師の技術の向上と東北地区牛削蹄競技大会(8月下旬、秋田県で開催予定)の本県出場選手の選考を兼ねて、下記のとおり開催することとなりましたので、多数ご参観下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日時;平成7年7月12日 午前9時30分
2. 場 所;古川市新田夜鳥裏69 古川家畜市場  
(NOSAI宮城 家畜課長 菊地 重夫)

## 実践大学在校生及びOBの抱負

「もっと知識や技術を」

畜産学部16期生 古川市出身

鈴木 修



私は平成6年3月に実践大学校畜産学部を卒業し、現在は宮城県畜産試験場のパート職員として勤務しています。試験場では、明るい諸先輩方と共に家畜飼養管理や試験研究の補助を行っ

ています。乳牛科ではタイストールパーラー(タンデム型)システム牛舎で、給餌はコンピュータ自動給餌、搾乳・体重記録などもコンピュータ集中管理しています。高泌乳牛のTMR給与で、正確な個体管理が可能です。また、肉牛科では種雄牛や繁殖牛の飼養管理を行っています。肉牛は体型や性質が違う為、個体の把握が重要であることを新ためて感じています。

我が家では、水稲2.3haと繁殖牛6頭の複合経営を行っているので、種雄牛にとっても関心があり育種についても勉強して行きたいと思っています。また、将来は在学中に取得した家畜人口授精師も生かしたいと考えているので、授精技術は勿論、繁殖管理、栄養管理、疾病など多くの情報や多面的な勉強を試験場の先生方にご指導受けています。農家にとって信頼のある適切なアドバイスができる様な実力をつけたいです。

今は、勤務時間が規則的で時間に余裕が持てるため、家族の協力の中、農繁期や朝夕の飼養管理が勤務時間外に行えるという利点があります。大学卒業後、就農も考えましたが、このペースで多くの経験(……遊び)を積んで行きたいと思う。

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

# ルビックス

牛用混合飼料

# S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 | 全農 | 経済連

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449~50



<畜試便り>

イチビ防除に関する最新情報

宮城県畜産試験場

イチビが飼料用とうもろこしほ場における帰化雑草として問題にされ始めて10年近くになる。

この間イチビについては、生理・生態および防除法についての研究報告や解説もかなりされてきたため、最新の防除法等についてその要点を紹介したい。



◀蒴果と結実種子 イチビ

<イチビによる被害>

とうもろこしの減収率が20%程度にとどまれば、収穫物の栄養価および発酵品質の低下、収穫物の臭い等の問題は起こりにくい。

<イチビによる収量低下の要因と耕種的防除法>

イチビととうもろこしの出芽時期の違いにより減収率は異なる。被害の大きい順に図1、図2、図3である。図3の場合、イチビの密度が高くて収量はさほど低下しない。図4のように作物の密度が低い場合もイチビの害は大きくなる。

以上のことから、耕起整地後は種遅れと低密度は種を防ぐことが必要であり、化学的防除法の効果を高める前提になる。



イチビが先に出芽

図1



同時に出芽

図2



イチビが後に出芽

図3



栽培密度が低い

図4

<化学的防除法>

各種除草剤試験から有望な結果が得られているため近い将来新しい防除体系として期待される内容を以下に記した。これらの除草剤は飼料用とうもろこしとして早急な農薬登録が望まれる。

1) 土壌処理単独

処理時期：は種直後～雑草発生前  
処 理 量：クリアターン乳剤800ml/10a  
希釈水量：100%<sub>v/v</sub>/10a  
注) イチビに対する試験例が少ない

2) 土壌処理、茎葉処理による体系処理

①従来どおりの土壌処理でまず一般雑草を防除  
ラッソー乳剤とケザプリムの混用  
②その後の茎葉処理でイチビ防除  
処理時期：とうもろこし3葉期  
処 理 量：バサグラン液剤80~100ml/10a  
希釈水量：100%<sub>v/v</sub>/10a  
注) 午後3時過ぎの処理は効果が劣るとの報告あり。

3) 茎葉単独処理

処理時期：とうもろこし3~4葉期  
処 理 量：ワンホープフロアブル150ml/10a  
(混用) バサグラン液剤100ml/10a  
希釈水量：100%<sub>v/v</sub>/10a  
注) 処理後6時間以内の降雨は効果を低下させる。永年性イネ科雑草に卓効。

(資料提供：広島畜試他) (草地飼料科 漆山 昌芳)

**WORLD** **サンシャイン**

株式会社 **五十嵐商会**  
 仙台市若林区卸町五丁目1番地4  
 電話(022)236-2525(代表)

**EISHIN** クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

取締役社長 山田 修造

動薬課 仙台市若林区卸町2丁目10-3  
 ☎(022)284-8111 FAX(022)284-8127  
 古川市福浦字道の137-1 ☎(0229)24-1211

<衛生通り>

ヨーネ病

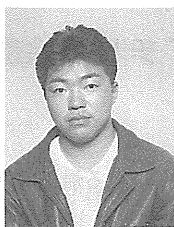
仙台家畜保健衛生所

ヨーネ病は、ヨーネ菌によっておこる細菌性の伝染病で、牛やめん羊に慢性の頑固な下痢をおこします。ヨーネ菌に感染すると、6ヶ月から15年で発症し、下痢を繰り返して次第にやせていき死亡するので、法定伝染病に指定されています。日本では、1930年にイギリスの輸入乳牛に発生したのが初発で、以後全国各地の輸入牛とその関連で散発していましたが、1981年には、北海道の和牛の大規模農場において本病が集団発生し、この頃から毎年年間100頭以上の発生が見られるようになりました。特に、北海道では、毎年その発生が報告されています。

ヨーネ菌の感染は、汚染された飼料や飲水などを経口的に取ることでおこります。特に幼若期ほどヨーネ菌に対する感受性が高いので、長く子牛を母牛につけることが多い和牛では感染の機会が多いと言われています。ヨーネ菌に感染すると、長い期間無症状で経過し妊娠や分娩、管理失直などのストレスあった時に発症します。しかし、本病で特に問題となるのはその無症状の時期にもストレスによって多量の菌を糞便中に排出し、他の牛への感染源となる事です。感染初期には、普通の消化器病の下痢として治療され一時的に良くなる事もあるので、その後また下痢を繰り返すなどの疑わしい症状がある場合は、注意が必要です。

治療法はありませんし、また一度ヨーネ菌に汚染されると感染牛の淘汰と消毒（フェノール系又は塩素系消毒薬が有効）以外に有効な清浄化の方法はありませんので、導入は、本病の発生のない清浄地から行い、万一疑わしい症状の牛を発見した場合には、直ちにその牛を隔離し、最寄りの家畜保健衛生所に検査をもらうなど早期発見早期隔離に努め、被害の拡大を最小限にしなければなりません。

(病性鑑定課 松田 悦子)



抱負

本年度の4月に宮城県農業共済組合連合会に就職し、家畜診療研修所で研修を始めて、1ヶ月が過ぎました。始めは、研修所生活に少し戸惑いを感じましたが、今では職場の雰囲気にも慣れ、諸先輩方の御指導や御助言をいただきながら、毎日楽しくも真剣に研修に取り組んでおります。

研修を始めた当初は、共済制度の仕組みや、家畜の診療技術、治療のしかた、ましては牛の性質まで知らない事ばかりで、毎日が新しい経験の連続で、「自分は学生時代になにを学んできたのであろうか」という事ばかりでした。そんな時、先輩方に「最初はみんなそんなものだ」とか、「就職してからが本当の勉強だ」とか、「始めからみんな知っている人など一人もいないよ」などと、色々言葉をかけていただき、少し安心する反面、早く先輩方に追いつき、一人前の獣医師として周りの方々に認められる様になりたいと焦る気持ちも湧いてきます。しかしあまり焦っていても仕方ありませんので、少しずつでも着実に色々な経験をたんでいき、しっかりと知識と技術を持った獣医師になりたいと考えております。

現在、輸入の自由化。枝肉価格の低下とそれに伴う子牛価格の低迷、乳成分の規制や生産調整等、畜産農家を取り巻く環境は、厳しい状況が続いています。そのため、家畜の頭数なども減少してきている様ですが、この様な状況の中でも真剣に畜産に取り組んでいらっしゃる農家の方も多数いらっしゃいます。そんな農家の方々に、微力ながらもお役に立てる様に精一杯頑張りたいと考えておりますので、まだまだ未熟な新米獣医ではありますが、よろしくお願いたします。

(NOSAI宮城 家畜診療研修所 松田 敬一)

<p>畜産の健康と未来に貢献する</p> <p>獣医薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材</p> <p><b>小田島商事株式会社</b></p> <p>本社 岩手県花巻市卸町66番地 TEL 0198 264151(代)</p> <p>古川営業所 古川市清水字周防10-1 TEL 0229-26-4567</p> <p>花巻営業所 横手営業所 酒田営業所 帯広営業所 盛岡営業所 青森営業所 福島営業所 家畜衛生食品 大船渡営業所 八戸営業所 旭川営業所 検査センター 大館営業所 山形営業所 札幌営業所</p>	<p>畜産振興の明日を 担う地方競馬</p> <p>地方競馬全国協会</p>
--	--